

2014 年 1 月

「 ふるさと 」

10 年前の本紙 130 号(2004 年 2 月発行)の会員投稿(鳥取市の高橋正晨さん)の中に文部省唱歌「ふるさと」が出てくる。1914 年(大正 3 年)の尋常小学唱歌として発表された曲で、ちょうど 100 年前に生まれた歌。作詞／高野辰之、作曲／岡野貞一で、同じ人の手による『朧月夜』、『春の小川』等と共に文部省唱歌を代表する曲として今もなお多くの人に歌われている。作曲の岡野貞一は鳥取市の出身。高橋さんは、当時地元 の公園計画検討委員に参画して鳥取の生んだ岡野貞一作曲の「ふるさと」にふさわしい公園にすべく頑張っていると投稿に記されている。その後どんな公園になったか。この「ふるさと」から、今歌手の新沼謙治さん本人が作詞 作曲して歌っている「ふるさとは今もかわらず」という曲を連想した。震災、妻・博江さんの死を乗り越えて、ふるさとの明るい未来と復興を思いながら作詩作曲を手がけたこの歌が、いま多くの人を励まし、話題になっている。特に全国の中学高校で、合唱曲として生徒たちにすごい人気らしい。新沼謙治は、持前のコブシを封印し、透き通るような高音で歌い上げている。NHKの『歌謡コンサート』で一気に広まったため、「23 年 ぶりの紅白復活もある」と期待されたが、かなわず。最近、豪華絢爛騒ぎ過ぎで嫌気がさしあまり熱心に見ていない紅白だが、静かで胸を打つこの曲が紅白に登場していれば、もっと引き締まったように思う。

ふるさとは今もかわらず

作詞 作曲 新沼謙治

爽やかな 朝靄の中を
静かに流れる川
透き通る 風は身体をすりぬけ
薫る 草の青さよ

緑豊かなふるさと 花も鳥も歌うよ
君も 僕も あなたも ここで生れた
ああ ふるさとは 今もかわらず

この町で あなたに出逢えて
本当に よかった
ありがとう ふるさとの青空よ
友よ 君に逢いたい

緑豊かなふるさと 花も鳥も歌うよ
君も 僕も あなたも ここで育った
ああ ふるさとは 今もかわらず

みんなで声を かけあって
力合わせて 生きてきた
遠い山並み その姿
いつも静かに 見つめてる

緑豊かなふるさと 花も鳥も歌うよ
君も 僕も あなたも ここで育った
ああ ふるさとは 今もかわらず

ふるさと 未来へ 続け